



SnowLine Festival

～北しなの冬の駅巡り～



概要

イベント名称・内容

「SnowLine Festival ～北しなの冬の駅巡り～」

内容: 牟礼・古間・黒姫 駅で雪遊びスペースを作る

目的

雪コンテンツで冬の鉄道の利用者を増やす

→鉄道を身近に

北しなの線のフリー切符を買ってもらう

*特に雪の少ない長野市街中在住者で電車で移動して駅からすぐ雪遊びできる環境をありがたがる家族や学生



開催日

2025/1/12(日)

*1ヶ月前からWEBページ作成の上
広報開始

ターゲット

- 家族連れ
- 学生(大学生まで)
- 雪で遊びたい人



牟礼駅 HOT SPOT PARK

基本情報

開催場所: 佐軍神社横スペース(牟礼駅から150m程)
開催時間: 10:00 ~ 19:00(サイトでは9:00~と表示)
開催内容: HOT Spot Park

駅選定の理由

牟礼、古間、黒姫の3駅において最も乗降客数が多く、イベントを知らなかった一般鉄道利用客も取り込むことが可能と考えたため

配置図



本部 (橙)
どんど焼き (赤)
かまくら (水色)
焚火 (桃)
山店 (青)
コーヒーワークショップ (黄)
火起こしワークショップ (白)
ショップ (白)
同線 (黄緑)

・実際は同線もっと細い
・同線の脇にスノーランタンを作成

広場の様子



2024年12月22日

ターゲット層

家族連れ、中高生や大人などすべての年代

イベント内容

- キッチンカー、机椅子の用意
- ワークショップの開催(コーヒー、火起こし)
- かまくら、スノーランタンの設置
- 焚火で暖まることのできる場所の提供
- 午前中は地元のどんど焼きと共に開催

イベント詳細

- キッチンカー
地元で活躍されている方々に協力をお願いし、5店用意
- ワークショップ
コーヒーワークショップ(信大のサークルに協力をお願い)
火起こしワークショップ
- かまくら、スノーランタン
事前にかまくらを作成
スノーランタンはイベント中に作成
- 焚火
5つ焚火を用意した

牟礼駅(準備、前日)

事前準備

- かまくら(イベント前)、スノーランタン(イベント中も)
- 机、椅子
- 看板
- 雪かき(出店用の整地)

かまくらの作り方

- 空洞を作るためりんご箱を置く
- 雪をかぶせる
- 形を整え固める
- 均等な厚さにするために枝をさす
- 1日置く
- 穴をあけ枝が見えるまで掘り進める



自衛隊式かまくらづくり

<https://www.youtube.com/watch?v=5hfvgr31cCs>

スノーランタンの作り方

- 直径13cm、高さ15cmほどの円柱型容器を用意
- 容器に雪を詰める
- 缶コーヒーで穴をあける
- 容器から取り出す
- キャンドルを入れ点灯



看板作成

○目的

駅から少し離れている開催場所まで誘導するため

○掲示内容

- ・イベント内容
- ・食べ物、ワークショップ紹介
- ・当日の牟礼駅スケジュール

○設置場所

駅前と開催場所付近の2か所

○設置方法

A2のデザインを作成

A1のボードにいれ、雪で固定



↓看板デザイン

←駅前に設置した看板

牟礼駅(当日を終えて)

[良かった点]

- ・どんど焼きの時間と合わせたことにより地元の方が多く来てくださった
- ・かまくらやスノーランタンは成功し、参加した方々には喜んでもらえた
- ・想定通り家族連れ、中高生や大人などすべての年代の方々に来てもらえた

[反省点]

- ・プロモーションを早い段階からできていなかった
- ・キッチンカーを出してくださったお店の売り上げなどを考えれていなかった
- ・かまくらを前日に作る上での安全管理が不十分だった
- ・駅から会場までが離れていたが、道案内ができていなかった

[気づいた点]

- ・地域の人はこのようなイベントを歓迎してくれる人が意外と多くいた
- ・会場とした場所が公園のため事前準備の段階で地元の方が来るということ
- ・雪が深いためキッチンカーや車が入りづらくなってしまった
- ・電車で来る人が多いため電車の時間が近づくと急激に人数が減る



古間駅

目的

- ・駅長のいない古間駅をにぎやかにする
- ・子連れ親子や雪を珍しがる大学生に雪遊びの機会を提供する

雪だるまづくり

- ・雪だるま駅長を作る
→ 駅長の帽子と制服を貸し出し写真撮影
- ・電車から見えるホーム側に並べる
(線路と駐車場の間)
- ・雪だるまづくりができる備品の準備



場所

町営古間駐車場



時間

10時~15時

問題点

- ・トイレが一カ所しかない(和式、男女共用)
→ かぶせるポータブルトイレ設置
- ・キッチンカーが必要(温かい飲み物&軽食)
→ happy crepeさん(10時~12時)
- ・時間をどう過ごすか
→ 旧戸草トンネル、キッチンカー
- ・(事前準備として雪山と、バケツで雪の塊を作っておいた)

古間駅(当日を終えて)

[良かった点]

- ・地元の方や、長野市から電車を使ってきてくれる方が多かった(当日参加者約40名)
- ・ターゲットとしていた家族連れに多く来てもらった
- ・雪だるまと駅長の帽子、制服で記念撮影することを楽しんでもらった

[反省点]

- ・想像以上にパウダースノーであったため、特に午前中は雪が固めづらかった
- ・デジタル切符(クレジット決済)やおさんぽガチャの使い方がわかりづらいという声があった
- ・宣伝不足

[気づいた点]

- ・小学生より未就学児の方が多かった
- ・車の出入りもあったので安全性に少し不安を感じた
- ・雪が踏まれているところや踏まれていないところがあり足場が悪くなっているところもあった

黒姫駅

実施場所:黒姫駅前 一茶ふるさと広場

実施時間:13時~16時20分

(電車の時間に合わせて設定)

実施内容:雪合戦



事前準備

- ・場所の手配
→しなの町からの使用許可
- ・机、椅子、雪かき道具の手配
→しなの町役場
- ・キッチンカーの手配
→ happy crepeさん

目的

- ・子供のいる家族や雪に慣れていない県外の人(大学生など)に身近なスノースポーツを楽しんでもらう
- ・人を集めないとできないスポーツなので、イベントを通して仲を深めてもらう

駅選定の理由

三駅の中で一番雪が降っており、近くに公園のようなスペースもあるため雪合戦ができる環境があると考えたから

前日・当日行うこと

- ・雪かき及び整地、障害物の作成
- ・受付 ・雪合戦の運営

当日備品

- ・カップ
- ・ルール説明用紙
- ・ポスター
- ・フラッグ
- ・受付名簿
- ・長机、椅子
- ・立て看板
- ・雪かき道具



雪合戦ルール

- ・5vs5
- ・攻守交代制
- ・時間交代(3分×3セット)
- ・攻撃側が旗を取ったら攻撃側の勝ち
- ・守り側は制限時間内に旗を取られない、または攻撃側全員を倒したら勝ち
- ・雪玉持ってる持っていないに関わらず3回当たったら退場
- ・当たったら自分が持ってた雪玉をその場で踏み潰す
- ・試合前に「自己紹介+作戦会議タイム」×5分
- ・参加回数無限、参加が少ない人優先、チームはその都度編成(やりたいほうに)
- ・大人子供の区別は指定しない
- ・色分けはガムテープ
- ・スロープの使用禁止。上段までは行かないこと。→フラッグは中段に設置する



黒姫駅(当日を終えて)

当日参加者：40人

【良かった点】

- ・駅のそばで実施することができた
- ・必要な備品を借りることができた
- ・十分な量の雪があった
- ・イベント開催時間がちょうどよかった(参加者が開き始める時間と終了時間がちょうどよかった)
- ・親子で参加してもらえた
- ・子供たちが次のルールの変更を考えてくれた

【気づいた点】

- ・他の季節で行う場合の行う内容
- ・集客問題(今回以上の人数規模で行う場合、今回の対応で行うのは難しいと考える。)

【反省点】

- ・雪かき含め事前準備の人員割り振りを熟考する必要があった
- ・一試合目が早く終わってしまいルールをもっと考えておく必要があった
- ・複数回連続で参加してもらう子に毎回受付まで来てもらったりと効率よく受付ができるよう要改善
- ・親の休憩場所がなかった(椅子は使われず、寒そうであった)
- ・大人たちにも連続で参加してもらえる工夫が必要だと感じた

広報

目的

長野市や信濃町、飯綱町周辺の住民に対して広報をすることで、北しなの線を利用する参加者を増やす

方法

Webサイト作成、チラシ配布、インスタ運営の3つ

Webサイト

○基本事項

公開日: 12月11日(水)

作成期間: 約3週間(11月下旬~12月上旬)

作成方法: Googleサイトを使用

ねらい: Web上での広報

チラシに書ききれない詳細の掲示

Webサイトリンク:

<https://sites.google.com/view/snowline-festival/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

○その他

各駅の情報やモデルコースの提案、Q&Aなどの情報を記載

随時更新を行った(複数回)

チラシにもサイトへとぶQRコードを記載



チラシ

○基本事項

作成期間: 11月下旬ごろ

作成方法: Canvaを使用

ねらい: 北しなの線周辺の住民への広報
小、中学生や大学生への広報

○その他

受験期付近のため高校は含まず
飯綱町の小学校・中学校に配布
各駅にチラシを設置

イベント協力者に説明等で使用

高等教育コンソーシアム信州で広報



Instagram

○基本事項

開設日: 12月25日(水)

ねらい: 若年層への広報

流行りにそった広報

定期的な情報公開や更新

インスタリンク:

https://www.instagram.com/snowline_festival?igsh=dzNuOTN6eTI5eTc2&utm_source=qr

○その他

各駅のイベントやフリーパスを紹介

詳細を含めた情報公開

飯綱町観光協会さんと共同投稿をした



広報の振り返り

【良かった点】

- 全体
 - ・実際に見てくれている人はいた
- Webサイト
 - ・ひとつのコンテンツに情報が集まっていた
 - ・わかりやすかった
- Instagram
 - ・情報アカウントに取り上げられた
 - ・インスタを見た大学生が遊びに来た
- チラシ
 - ・大学内にも置いたので、見た人が声をかけてくれた
 - ・ダイレクトに広報することができた

【気づいた点】

- それぞれの特徴
 - Webサイト→うまくまとめる必要があるため作るのが大変、見てもらえた実感がない
 - Instagram→複数回に分けて情報を上げるのに長けている、フォロワー数やいいねの数で閲覧数が可視化される
 - チラシ→実物での広報ができるが枚数に制限がある
- 3つの広報をしてみて
 - Instagramは結構の人が見ている！時代にあった広報の仕方が必要
 - 新聞に記載してもらおうと人が見るらしい(今回はやらなかった)
 - 企画と同じくらい広報は重要

【悪かった点】

- 全体
 - ・取り掛かるのが遅かった
 - ・更新が少なかった
 - ・拡散しきれていなかった
 - (実際に当日イベントを知らなかった人もいた)
 - ・うまくできた感じはしなかった
- Webサイト
 - ・検索しても出てこなかった
- Instagram
 - ・開設が遅くなり、チラシにQRを載せれなかった
- チラシ
 - ・うまく届いているかわからない

当日の写真



黒姫駅の雪合戦



古間駅の
雪だるまづくり

雪だるま完成！



牟礼駅のかまくら
ではしゃぐ大学生



かまくらと
スノーランタン



まとめ(全体を通して)

【良かった点】

- 来た人には満足してもらうことができた
- 来場者が北しなの線で訪れてくれた(北しなの線を初めて利用したと答えた人も多数)
→利用促進につなげることができた
- 大きな事故、トラブルなく終わることができた
- 平常時には人が集まらない場所に幅広い世代の人が集まり、世代間の交流ができた

【反省点】

- スケジュール管理が曖昧だった
- 広報活動が十分にできなかった
→自分たちの想いをうまく伝えられない場面があった
- 情報共有や連携がうまくいかない場面があった
- 安全管理に関する考えが足りていなかった